

**【報告】 弊社所属研究員アヘゴが「東京パラリンピック2020」に  
通訳ボランティアとして参加しました！**



東京パラリンピック2020のパラアスリートたちは、人間の無限の可能性を証明してくれました。  
パラリンピックボランティアへの参加は2018年に始まりましたが、私はこの素晴らしい旅に参加出来たことをとても誇りに思っています。パラリンピックでのボランティア活動は初めての経験であっただけでなく、多様な障害を持つ人々のパフォーマンスレベルに対する認識を広げることが出来ました。  
コロナパンデミック下に開催されたこの世界的なスポーツイベントを通して、多様な背景、文化や言語を持つチームメンバー達のおかげで、いつまでも心に残る楽しい思い出を作ることが出来ました。

活動のほとんどは有明アリーナとオリピックスタジアムの間で行われ、私の仕事はミックスゾーンでメディアや報道関係者の言語通訳のサポートをすることでした。  
私は、義肢装具士として、四肢に障害を持つ人々のパフォーマンスを目の当たりにしたことで、それを必要としている人々に高品質で効果的な補助器具を提供するために、この分野で卓越した存在になりたいと思うようになりました。  
特に、資源の乏しい国で四肢に障害を持つ人々のスポーツ参加を促進することは、一般の人々にも一定の認識をもたらすでしょう。  
また、肢体に不自由のある方がスポーツに参加することで、仲間のネットワークや自尊心、生活の質が向上します。

言語サービスチームメンバーとして東京2020パラリンピックに参加したことで、障害を持って生活する人々やスポーツイベントのサポートに益々興味を持つようになりました。  
(※英語原文は弊社HPで)



令和3年9月  
【016号】

**DreamGP**  
Dream Growing Platform  
株式会社ドリーム・ジーピー

【大阪本社】  
〒556-0004  
大阪市浪速区日本橋西1丁目3-19 南海日本橋ビル1F  
TEL:06-4708-4877 / FAX:06-4708-4789

「弊社主催オンラインセミナー動画」  
ホームページへのアップロード情報



アーカイブ動画、続々アップ中！  
【第13回(2021/5/16)】高山 かのる 氏  
【第15回(2021/7/10)】弊社代表 荒山  
ギシナビ   
<https://www.gishinavi.com/>

## 第16回 Zoom 利用による無料オンラインセミナー

義肢装具士の皆様へ

2021年9月11日(土)  
14:00~16:00

『2021年6月29日、本格オープン！

ファクトリーショップ「足と靴下の店 ごえん」への招待状

～足底圧計測システム「footscan®」の活用実例を交えて～

### 【演題】

- 14:00～14:15  
『足から始める健康経営～「フットライフサイクル」によるサポートを再考する～』  
講師：荒山 元秀 氏（弊社代表取締役社長）
- 14:15～15:15  
『2021年6月29日、本格オープン！  
ファクトリーショップ「足と靴下の店 ごえん」への招待状  
～足底圧計測システム「footscan®」の活用実例を交えて～』  
客員講師：中林 功一 氏（株式会社山忠 取締役会長）  
亀山 貴司 氏（株式会社山忠 係長）



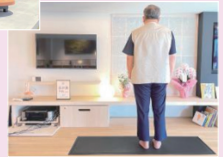
中林 功一 氏



亀山 貴司 氏

~~~~~ 休憩 (15:15～15:25) ~~~~~

- 15:25～15:50  
『ナリモが参ります！～弊社機器導入企業様インタビュー③～』  
講師：成毛 喜男（弊社執行役員）
- 15:50～16:00  
『2021年度後半の補助金情報』  
講師：中村 美穂（弊社執行役員）



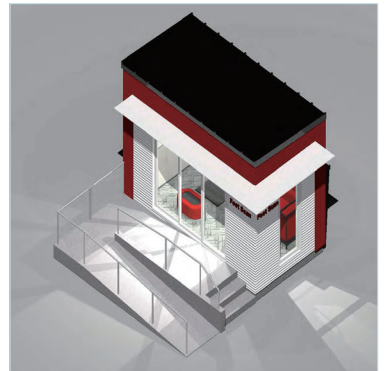
【お申込み・お問合せ】 ※お申込み期限：9月9日(木)

**主催** (株)ドリーム・ジーピー  
TEL: 06-4708-4877 / FAX: 06-4708-4879  
E-mail: info@dreamgp.jp

・氏名(ふりがな)、貴社名、所属名・役職、電話番号、メールアドレス)をご用意の上、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。  
セミナー当日、お伺いしたメールアドレスへ専用URLを送信致しますので、そちらをクリックしてご参加下さい。



「人生100年時代」、コロナ禍を経て  
ますます加速する《健康と安全》への関心  
㈱ドリーム・ジーピーが提案する「新しい空間のカタチ」  
「CUBE Minny」義肢装具モデル誕生!!



「CUBE Minny」は、お客様の様々なご要望に合わせて内装外装を自由に創り上げることが可能なコンテナ型空間で、24時間換気を標準装備し、オゾン発生器が除菌、CO<sub>2</sub>も検知し、安心安全にも配慮しています。

「義肢装具モデル」は、右記の標準装備に、3D足型自動計測機

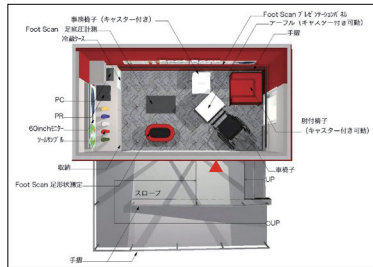
義肢装具会社様のお取引先と云えば、主に挙げられるのは病院やクリニックですね。そして、採型や営業の際には各お取引先様へ出向いていくのがほとんど。ですから、例えば「クライアント様にご来所頂ければ…」というシーンがあっても、所内に対応可能なスペースが用意されていない義肢装具会社様も少なくないと同っています。

「義肢装具モデル」の活用で、地域の方々の健康を守る新しい義肢装具会社のカタチを実現しませんか。

「義肢装具モデル」は、右記の標準装備に、3D足型自動計測機

そこで今回、㈱ドリーム・ジーピーは、およそ駐車場1台分、わずか10mというスペースがあれば実現出来る「新しい空間のカタチ」 「CUBE Minny」をご提案します。

詳細は弊社まで。



株式会社ドリーム・ジーピーは、2021年、2タイプの靴を開発、ローンチ致しました。  
働く女性の「長年の課題」、黒のベーシックパンプスへのソリューション「REAL FOOT MODERATO (リアルフットモデラート)」、ポルトガル産コルクの素材特性を最大限に活かし、贅沢に使用したコンフォートサンダル「QORTISA (コルティエーサ)」。  
お問合せ及び商品の販売・お引渡しについては、マイフットステーション (MFS) 銀座・なんば・泉大津各店にて。

パンプス選び、こんな経験ありませんか?

足が疲れる 足が痛くなる 気になる外反母趾 夕方になると浮腫む 段差でつまづいた

そんな貴女に! “自分の足に靴を合わせて「軽快に」”  
オリジナルパンプス+フルカスタムインソールという新発想

特長

- ①ラスト(木型)設計・・・CAさんや美容師さん等、仕事で足を酷使している1200名もの女性の三次元足型計測データから、日本人女性にフィットするオリジナルを製作
- ②フルカスタムインソール・・・三次元足型自動計測機による計測データに基づいた設計・製作
- ③パンプス本体・インソール共に日本製

①初回に来店・・・三次元足型自動計測機にてお客様の足形を計測、パンプスを試着、カウンセリングしながらサイズとインソールのカラーを決定

②フルカスタムインソールの製作・・・計測データに基づいて設計・製作、初回に来店時に決定したパンプスに装着(特許出願中)

③再度来店・・・フィッティングの後、お渡し

取扱い:マイフットステーション各店(銀座・なんば・泉大津にて)

ポルトガル産天然コルクを贅沢に使用  
健康と環境に配慮したコンフォートサンダル

QORTISA  
コルティエーサ

誕生!!

3つのラインナップ  
※デザインは3色、5サイズ(S,M,L,LL,3L)からお届け頂けます。

Taylor Kross Sammy

※「MODERATO」モテモテは、「軽快に」を意味する新発想です。

※「QORTISA」は「持続可能な」を意味する新発想です。

取扱い:マイフットステーション各店(銀座・なんば・泉大津)にて

マイフットステーション 特許

【電話】03-5159-5075 / FAX: 03-5686-6077 / 泉大津: 072-562-9227

DreamGP

※「REAL FOOT MODERATO (リアルフットモデラート)」は、お申込み頂きましたお客様ご自身の足型計測が必要です。「QORTISA (コルティエーサ)」については、海外生産品の為、ご注文頂いてからお渡しまで、多少のお時間を頂く必要がございます。予めご了承下さい。

## Tokyo 2020 Paralympic games volunteer experience

Akouetevi Aduayom-Ahego, PhD

Athletes in the Paralympic games have proven the endless possibilities of a human being. Participation in the Tokyo 2020 games as a volunteer started in 2018 and I was very proud to be part of this marvelous journey. Not only this was my first-time volunteering in the Paralympic Games, but also it has broadened my perception of the level of performance of people with diverse impairments. Working as a language service team member has enabled me to experience the activities in the mixed zone where media interact with the athletes after the games. Multicultural and diverse team members with different backgrounds and languages have made the activities enjoyable with everlasting memories. Experiencing this global sports event during the pandemic, I knew it was about to be an unforgettable moment. Most of the activities were spent between Ariake Arena and the Olympic Stadium and my job was to assist media and press in the mixed zone in case of language interpretation. As a prosthetist by profession, and witnessing the performance of people with limb impairments have motivated me to excel in my field to provide high and effective assistive devices for people in need. Especially, promoting sport participation for people living with limb impairments in low-resource countries will bring a certain level of awareness to the general population. Also, sports participation of people with impairments will improve peers' networking, self-esteem, and quality of life. My participation in the Tokyo 2020 Paralympic games as a language service team member during the COVID-19 pandemic has grown my interest in supporting people living with impairments and sports events.